

キューピットハウスだより NO.7

今年の夏は、大雨が続いて大変でしたね。暑い夏も過ぎ、朝夕は秋を感じられるようになり、寒暖の差も激しくなっています。体調の変化がしやすい時期となっています。食事や睡眠をしっかり摂って体調を整えましょう。

キューピットハウスでは、この夏、手足口病・RS ウイルス感染症が流行っていました。現在は、RS ウイルス感染症は落ち着いていますが、手足口病は現在も利用されている方がいます。

手足口病は、口内炎がある場合は、喉ごしのよいもの(ゼリー・果物すりおろし)などを食べるようにしましょう。登園のめやすは、厚生労働省がだしている保育所における感染症対策ガイドラインによると、**発熱や口腔内の水疱の影響がなく、普段の食事がとれること**となっています。

☆キューピットハウスでは、下記のような感染対策を行っております。

- ① 毎朝、職員の検温・体調チェック
- ② 日中の換気
- ③ フェイスシールド・エプロン、また必要時には手袋を着用
- ④ おもちゃ・トイレ等の消毒
- ⑤ 職員の手指消毒を徹底

また、病児保育室を利用される方にも次のことをお願いしております。

- ① 来室時のマスク着用
- ② 入室前の手指消毒
- ③ 同居されているご家族の方の問診票の記入

お子様にとって、より安心・安全な環境で過ごせるよう職員一同取り組んでいきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆保護者の方が退室されるとき、お子様の泣き顔を見て不安になる

時々、保護者の方から聞かれる声です。

キューピットハウスを利用されるお子様は、普段と異なる場所・人による不安。また病気や病状による痛みや不快感による不安。と様々な不安を抱えています。

そのため、私たちはお子様の不安を軽減し、お家で過ごすようなリラックスした雰囲気づくりができるよう主に2点のことを心がけています。

まずは、キューピットハウスが安心できる場所と人であるということをお子様にとって頂くことです。

例えば、入室時の受け入れの際に、保護者の方とスタッフが笑顔で話すことで、お子様に楽しく話している雰囲気を感じてもらったり、お子様が興味の引きそうなおもちゃ等で対応することにより、全く知らない場所ではない・楽しい場所であると知ってもらい、安心できる場所が作られるように配慮します。

また、お子様が不安な時は、泣いて保育士に抱きつき離れようとしません。お気に入りのぬいぐるみ等をギュッと握りしめていることもあります。

このような不安を解消するために、気持ちが落ち着くまで抱っこをしたり背中をさすったり等のスキンシップや言葉かけを行います。

次に、情報収集です。

予約段階でお子様の年齢や病状から、お子様の好きなおやつやリラックスできるもの(タオルケットや好きなおもちゃ等)をお願いすることがあります。

また、受け入れ時の問診の際、お子様の様子を見て、お子様が早期に安心できる環境を作れるよう、病状だけではなく注意事項はもちろん、お薬の飲み方・普段の呼び名・好きな遊び等、様々な情報をお聞きしています。お忙しいお時間とは思いますが、お時間の許す限り教えていただけたらと思います。

☆些細なことでもお声がけください！

病児・病後児保育を利用することは、お子様だけでなく保護者の方も不安があると思います。その際は、いつでもお声がけくださいね。

お家の方と離れる際の分離不安は、子どもの成長の中で通る道です。お子様や保護者の方の不安な気持ちに寄り添いながら、お子様が安心して過ごせるよう工夫していけたらと思います。

